お笑い大道芸体験講座(2018/6/24)　　大道芸研究会例会講演資料

問六口

1. 最近の私の活動(29 年 5 月ー 30 年 6 月)

①県内外での活動～県外では 16 府興 40 ヵ所程度(鹿児島.・石巻・奈良・広島・大阪外)

②演目は、「笑いと健康」の講演活動 70%。大道芸 20%。その他漫談等 10%

③笑いを求める高齢者が多い～笑いが健康にいいと感じている高齢者が多数

④再度呼んで下さる場所が複数ある～ いい評価をいただく事が励みになる

2. 大道芸と私

①小さい頃より 7・5 調 の言葉で人を喜ばす事が大好き～ 啖呵売は原点

・都々逸 ・地口 ・川柳 ・ナレーション ・啖呵売等

②本格的な活動は定年以降

・大道芸の口上も、昔のものを踏襲しつつ、その時代のお客さんの心をつかむ形に変換して行く事が必要と考える(私の場合は笑いの取れる形に作り変える)

・人気のあるバナナのたたき売り口上と他の口上との比較

・場の雰囲気に合わせ、臨機応変に口上を重ねる・お客さんとキャッチボール

3. 上手になるこつ(繰り返しの練習・っかみ・間の取り方・声の強弱)

①好きこそものの上手なれ～大道芸を好きになる事(繰り返し練習する)

②演目は最初は一つにしぼる～一番きわめたいものからやる。極めたら次に進む

③上手な人の喋り方を研究する～あちこちに出掛けて見る。面白いものは書き留める。
自分の資料を作る。自分流につくりかえる。話のネタに目をつけている。

④人前で喋ってみる～度胸をつける為に恥をかく。積極的に参加する。

⑤人の評価を受け入れる。～自分の評価と他人の評価は違うもの。
研究会は評価してくれる。私の場合最近アンケート結果を頂戴する事がある

⑥会場の“にっこり”さんを探す～必ず一人や二人うなずいてくれる人がいる。

⑦良い評価を得ると自信がつく(慢心しない)。
更に練習に励み、間の取り芳、声の強弱、緩急等も研究する。
自分の喋りをチェック(DVD)

⑧当意即妙に出来るように励む。最初の 3 分(つかみ)が勝負。話の枕を研究する。
人と違う自分のフレーズを持つ。

4. 爆笑バナナのたたき売りの実演例

①私の場合、つかみを長くして、多くの人の心をつかむ。

②当意即妙の口上で、バナナを買いたいという気持ちにさせる。

③バナナのたたき売りは面白いと思わせる(西条や神戸での例など)